

次世代につなげる森林づくり

R8.6.8 NO.56号



ノウサギから森林を守る！

～「ノウサギ研究アーカイブ」を公開しました～

森林技術・支援センターでは、身近に生息しながら容易に姿を見せないノウサギによる森林被害、特に**苗木への被害対策**に向けた研究を平成29年度から継続して行ってきました。

これまでの研究により、

小型箱ワナの独自開発

誘引エサの検証による効果的な捕獲手法の確立

GPS 首輪やセンサーカメラを用いた行動分析

防護ネット被害のメカニズム解明

など、多くの実践的な知見やデータを蓄積しています。



これらの成果は、ノウサギの行動特性や被害の実態を具体的に明らかにしたものであり、**現場での被害対策の高度化に直接役立つ内容**となっています。

苗木被害に着目した研究は全国的にも事例が少なく、本取組は独自性の高い研究として、民有林でも活用可能な有用な知見を提供するものです。

今回、これらの研究成果を「[ノウサギ研究アーカイブ](#)」として Web ページに取りまとめました。あわせて、職員が理解しやすい現場で活用しやすいよう、研修動画やチラシも整備しています。



[生物多様性に配慮したノウサギ捕獲手法\(動画\)](#)



[ノウサギがネットをくり抜ける動画](#)
(YouTube 再生回数増加中)



研修用動画(1時間30分)
活用されたい方は森林技術・支援センターまで

今後は、各県や森林組合、林業事業者への情報提供を進めるとともに、会議等でのチラシ配布や SNS を通じた発信など、積極的な広報活動を行っていきます。

森林技術・支援センターでは、今後も現場に根ざした研究成果の普及を通じて、森林被害の軽減と持続可能な森林管理の推進に取り組んでまいります。



各種試験調査・見学のお問い合わせは

四国森林管理局 森林技術・支援センター

☎ 088-821-2250

e-mail shikoku.gijyutu@maff.go.jp

(セキュリティ対策で@を★に置き換えています)

